



現在 50 の町内会が、住みよいまちづくりを目指して、さまざまな地域活動に取り組んでいます

# いざという時のため、暮らしにもっと安心を 今こそ地域とつながろう

少子高齢化や核家族化が進む中、大切さが問われる「地域つながり」。昔の日本では地域での助け合いがないと生活が成り立ちませんでした。現在は生活を守る社会保障制度が充実したこともあり、地域で支え合う精神が徐々に薄れてきました。しかし、災害発生時や何気ない日常を支えてくれるのは、地域の人かもしれません。希薄化しつつある地域つながりに向き合い、その大切さについて考えていきます。



南郷町内会長  
くにお  
佐藤 久仁夫さん

## つながりを深める町内会

町内会（自治会）は、地域の住民で構成された自治組織です。そこに暮らす人が主役となり、会の運営に必要なルールや事業、お金の使い方について決め、住民の交流や災害時の助け合いなどを目的にした活動を行っています。50の町内会のうち、南郷地区で町内会長を務める佐藤久仁夫さん。「町内会がないと、住民は孤立してしまいます。最近ではコロナ禍で活動が減り、地域のつながりが薄まりつつあり残念です。先日の地震のように、日ごろ住民同士で親睦を深めていけば、連携も強まります。また少しずつ顔の見える活動に取り組んでいきたいです」と話します。

## 町内会のメリット

「地域のことは、役場が何とかしてくれるから大丈夫」といった声もありますが、町内会は、行政の手が届かないような地域の実態に沿った活動を行っています。

特に、災害時は住民同士の助け合いが欠かせません。平成7年に発生した阪神・淡路大震災では、救助された人のおよそ8割が家族や地域の人に助けられたことが分かっています。大規模な災害が発生した直後は、公共の支援が届きにくいものです。普段から町内会を通じた交流があれば、避難所や支援などの情報を共有しやすくなります。互いの顔や名前が分かるため、災害弱者の避難や負傷者の救出もスムーズです。

また、町内会に入ると、町のお知らせが届くため地域の情報を得やすくなります。文書のやり取りを通して住民同士で顔見知りになり、その後親しくなって、交流が始まる



住みよい地域を目指して清掃活動

近隣住民で集まり、防災マップを作成

文書配布での交流も楽しみのひとつ

こともあり。近所に知り合いがいると、困った時に相談に乗ってもらえることもあり、心強く感じるはず。子育て世帯や高齢者世帯、一人暮らしの女性は、不審者情報なども気になるところではないでしょうか。こうした情報は学校や保護者のネットワークのほか、町内会から回ってくることもあるため、加入していると早めに情報を得ることができず。

## 誰もが住みよい町に

自然災害や不測の事態が多発する近年、町内会に加入して住民同士で親睦を深めておくことで、スムーズに地域連携をとることができず。

「町内会」という集まりの場があるからこそ、地域とつながり、誰も取り残すことなく、そこに住む全員にとって住みよいまちづくりが出来ます。あなたの暮らしをより良いものにするためにも、町内会に加入して、地域とつながりませんか。

## Interview



まりな  
二瓶 麻里菜さん

## 毎月届く広報紙は、町を知る大切なツール

結婚を機に、町へ移住しました。引越してきたばかりで、知り合いもなく不安でしたが、町内会に加入したことで、町の広報紙が届くようになりました。毎月写真を見るのが楽しみで、地域で起きた出来事や周りにあるお店について知ることができ、町を知るのにとっても役立つツールだなと感じています。また、年に1回、自治会で災害用の緊急名簿を作っ

ていることもすごいと思いました。何事も起きないのが一番ですが、最近地震も多いので、万一の時にこうした町内会での情報共有や防災活動があると安心だなと感じました。

時代に合わせて、程よい距離感を保ちながらも、隣近所の人とあいさつをしたり、家の周りの雪かきをしたりして、快適に安心して過ごしています。

## Interview



よしこ  
木村 良子さん

## 震災の時も、無事を確かめに来てくれた

子どもが巣立ち、現在一人で暮らしています。数年前から病気で足が不自由になり、日常生活で不便を感じるが増えました。なかなか歩くことも容易ではないため、町内会の皆さんが代わりにごみを出してくれたり、家の前の雪かきをしてくれたり、とても親切に身の回りの世話をしてください。先日の地震でも、懐中電灯を持ってすぐに家まで駆け

付けてくれ、「一人では危ないから」と一晩泊らせていただきました。災害時には毎回必ず様子を見に来てくださって、とてもありがたく感じています。

一人暮らしをしているからこそ、町内会の集まりやサロン活動など、皆さんとおしゃべりする時間がとても楽しく生きがいになっています。これからも地域のつながりを大切にしていきたいです。